

1 学園の基本理念 : とともに育ち合い よりよく生きる

自分の思いを持って自分らしく、仲間とともに生きる喜びを感じながら
こどもをまんなかに、園と家庭が手を取り合い
地域とともに みんなでつくる「こども園」

2 本園の教育・保育の方針 : 50の文字を教えるより100の「なんだろう？」を育てたい

知識や技能を教え込むのではなく、遊びや生活の体験を通して
子ども自らが考えたり、試したり、表現したりする、心情・意欲・態度を育てる

3 本園の目指すこども像

「あかるく」しっかりとした愛情に支えられ
「たくましく」やりたいことを見つけて挑戦し ⇒ 自分のことが「好き」と言える子ども
「創造性豊か」仲間とともに試行錯誤する

4 本年度重点的に取り組む目標・計画

園と家庭との繋がりを更に密にし、地域との連携にも努めながら、次の3点から目指すこども像の具現化を図る。

- ① 保育実践と記録を基に教職員間で語り合い、教育・保育の質向上を図る（研修の充実）
- ② 安全、且つ子どもの好奇心を高める保育環境の充実に努める（安全点検と危機管理状況の確認及び環境構成）
- ③ 子どもを真ん中にして相互の育ち合いの在り方を考える（保護者理解）

5 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	子どもの主体的な遊びを促す環境構成・援助の充実	B	教職員は、子どもの興味や発達を踏まえた保育実践に努めており、日々の保育に対する前向きな姿勢がうかがえ、一定の成果が認められる。一方で、実践の振り返りや記録の共有、教職員間の学び合いについては、さらなる充実の余地があると考えられる。
	子どもの育ちを捉える断片的な記録の蓄積		
	子どもの育ちを支える連続性を持ったエピソード記録の充実		
	保育の質を高める研修		
2	安全で衛生的な生活を維持するためのマニュアルを共通理解する。	B	安全で衛生的な環境づくりについては、保護者から概ね高い評価を得ており、日常的な安全意識の高さがうかがえる点は評価できる。また、子どもが安心して過ごせる環境が整えられていることは、本園の安定した保育運営の基盤となっている。
	教職員ひとり一人が日々、安全・衛生を意識して行動する。		
	園庭・園舎・遊具の安全点検と危機管理状況の確認と把握		
	園庭環境の整備計画と段階的な実施		
3	保護者の園で生活する子どもへの関心を高める工夫	A	保護者との信頼関係やコミュニケーションについては、高い評価が得られており、園と家庭との良好な関係が築かれている点は高く評価できる。特に、子どもの様子が家庭に伝わり、保護者が成長を実感している様子がうかがえることから、日々の情報発信や関わりの積み重ねが成果として表れていると考えられる。
	保護者との信頼関係を築き、保護者のニーズを把握する		
	子どもを真ん中に、園と家庭の役割を考え保護者との共通理解を図る		
	共に育ち合う仲間として園と家庭の連携を深める		

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

6 総合的な評価結果

評価	理由
A	本年度は、子ども一人ひとりを大切にされた保育の実践に努め、保護者アンケートからも子どもが安心して園生活を送り、成長している様子がうかがえるなど、一定の成果があったと考えている。また、教職員間においても、子どもの姿をもとにした保育の方向性の共有が進んできている。 一方で、記録や振り返りの充実、保護者との双方向の関係づくり、安全面でのさらなる配慮などが今後の課題である。これらを踏まえ、引き続き教育・保育の質の向上に努めていく。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

7 今後取り組むべき課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	研修の充実	エピソード記録の活用や対話的な研修の充実により、組織としての専門性を向上させる。
2	安全管理	保護者から、遊びの場面における衣服の汚れ等に関する具体的な意見も見られることから、環境設定や事前の配慮、保護者への丁寧な説明など、より細やかな対応に努める。今後は、安全管理マニュアルの再確認とともに、子どもの主体的な遊びと安全配慮の両立を図る取り組みを充実させる。
3	保護者理解	教職員側の認識として、保護者の参加や意見表明にばらつきが見られることから、より参加しやすい機会の工夫や、意見を伝えやすい環境づくりに努める。

8 学校関係者評価委員会の評価

本年度の自己評価は、継続的に実施しているアンケート結果を踏まえ、経年の取組の中で園の教育・保育の状況を的確に捉えたものと評価できる。保護者からの高い評価に見られるように、子どもを大切にされた保育や安定した園運営については一定の成果が認められる。

一方で、記録と振り返りの仕組み、保護者との双方向の関係づくり、安全面における細やかな配慮については、今後さらに充実が期待される。これらの課題に丁寧に取り組みながら、より一層教育・保育の質の向上が図られていくことを期待したい。